

ばばだけ！
JTサンダーズ広島

竹田 英司



原監督㊦と新ユニホームを披露する
小野寺選手㊧、山本主将 (14日)

Vリーグ開幕直前の必勝祈願参拝が近隣の比治山神社（広島市南区）で開催され、静かな空気の中で身が引き締まる思いがした。引き続き、猫田記念体育館で広島県内限定ユニホームを披露する記者会見も開かれ、多くの報道陣に取材していただき、いよいよシーズン開幕の機運が高まってきた。
山本将平主将と小野寺太志選手

◎ 良きお母さんの存在に

が語ったように、選手たちは応援してくださる皆さまの思いを背負ってシーズンを戦う。「皆さま方の変わらぬご声援を」と言いたいところだが、今シーズンは試合会場で観客数制限があり、発声も控えていただくなど、困難な状況がある。拍手での応援を賜りたい。
困難といえば、私は食事が減ってしまった。遠征先でも「孤食」なので自然と無言になるからだ。深津旭弘選手が「食事って本来はもっと楽しいはずだよな…」とこぼした時、私は噴き出しそうになった。飛沫を飛ばすわけにはいかない、必死に笑いをこらえた。
名古屋遠征の食事会場では、熊倉允選手に「マスクのひもが切れたので、新しいのをください」と言われ、思わず「私はお母さんじゃないんだぞ」と冗談めかして言い返したが、コロナ禍の今シーズンはチームのお母さんの存在になると思う。苦しい時も笑っていただける、お母さんでありたい。
(JT広島マネジャー)

新ユニホーム紹介と必勝祈願の動画は中国新聞デジタルで

